

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」～ EU 諸国等との大学間交流形成支援～



JoinTECH
by Kyoto Institute of Technology

3×3教育制度の活用による グローバルな次世代マテリアル人材 育成プログラム

JoinTECH Laboratories for Smart Materials Leader Development

●ヨーロッパ6大学との連携により、共同研究をベースとした **JoinTECH Laboratory** を設置

ヨーロッパの連携大学と共同研究をベースに、オンライン交流と海外留学を組み合わせた実践的な専門教育を段階的に実施します。

●修士学生の個別の専門分野の研究に基づいた一貫通貫の交流プログラムを実現

学生は自大学での研究を途切れさせることなく、留学先の研究室で研究を継続することができます。異なる思考や手法による研究に触れることで、視野を広げ、多様な研究者やラボメイトと人脈を作ります。

●次世代マテリアル分野を牽引する **マテリアル TECH LEADER** を創出

半導体材料をはじめとする高機能・最先端のマテリアル分野で、主体的に開発と探求を行い、イノベーションを牽引する人材を育成します。

プロジェクト期間：2024-2029 年度

JoinTECH-Online JoinTECH-Visit JoinTECH-Lab JoinTECH-Seminar

海外協働の土台作り

グローバルなチーム協働体験

修士論文等に反映される科学的な成果

世界の最先端とつながる

一貫通貫した国際的な研究活動と専門性の探求

連携大学と分野



電気電子工学系 高橋和生 教授
半導体プラズマプロセス

×
オルレアン大学 フランス
University of Orléans / France



電気電子工学系 西中浩之 教授
半導体工学

×
バレンシア大学 スペイン
University of Valencia / Spain



分子化学系 熊田陽一 教授
バイオ・ナノテクノロジー
生体分子工学

×
ベニス大学カ・フォスカリ校 イタリア
Ca' Foscari University of Venice / Italy



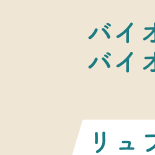
電気電子工学系 高橋駿 准教授
ナノ光電子工学

×
トゥウェンテ大学 オランダ
University of Twente / The Netherlands



材料化学系 Elia MARIN 准教授
材料科学、冶金工学

×
ウーディネ大学 イタリア
University of Udine / Italy



×
バイオインターフェース設計
バイオセパレーション

×
リュブリャナ大学 スロベニア
University of Ljubljana / Slovenia

3×3とは？

学部から博士後期課程までの9年間を3年ごとに分割し、3段階での人材育成を行う本学独自の教育制度です。学部から博士前期課程までの6年間を一体として捉え、その後の博士後期課程を見据えたカリキュラムとしています。専門実践修練の段階である修士相当の3年間は学修・研究スケジュールに柔軟性を持たせており、その点を本プログラムでは活用し、国際経験を付加します。

専門基礎形成			専門実践修練			専門自立実践		
学部 1年・2年・3年			学部4年・修士1年・2年			博士 1年・2年・3年		
B1	B2	B3	M0 (B4)	M1	M2	D1	D2	D3



京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

1 JoinTECH-Online

海外協働の土台作り

- オンライン交流による留学障壁の低減
- JV-Campus によるお試シラボにより、専門分野の適性見極めや早期からの研究留学の計画が可能に

2 JoinTECH-Visit

グローバルなチーム協働体験

- 1～2週間ほどのグループ派遣・受入
- 現地学生とプロジェクトを通じて協働
- 長期留学への意欲喚起

4 JoinTECH-Seminar

世界の最先端とつながる

- 毎年度1回開催
- ラボ間での知見の共有
- 異なる分野間でのネットワーキング

3 JoinTECH-Lab

修士論文等に反映される科学的な成果

- 数カ月間への派遣・受入
- 連携研究室と共に成果を伴う共同研究を実施



TECH LEADER とは？

京都工芸繊維大学が育成する人材像です。

専門力、リーダーシップ、外国語運用能力、文化的アイデンティティを踏まえた個の確立の4要素に裏打ちされた、グローバルな現場でプロジェクトを成功に導く人材を、国際協働を通じて育成しています。

到達度は、本学が独自開発した「TECH LEADER指標」に基づき、26項目・9段階のルーブリック評価により行います。



ウーディネ大学との JoinTECH- Online



大学院進学後に行う研究に対応する講演を聞き、具体的なイメージを膨らませることができました。将来留学に行く際、どの程度まで語学力を上げておく必要があるかの目処を立てる機会ともなり、留学のモチベーションを保つためにも有意な時間でした。

応用化学課程4回生 Kさん

バレンシア大学への JoinTECH-Visit



普段とは異なる装置による実験を通じて、教科書には書かれていないことを学びましたし、評価技術の専門家から直接学べ、日本で疑問だった点が解決できました。研究者の方とネットワークを築くこともでき、博士後期課程での研究留学の足掛かりができました。

電子システム工学専攻 修士2年次 Kさん

ベニス大学から JoinTECH-Visit で京都へ



自分を包み込む快適な世界を抜け出し、まったく新しい異文化に関わることは、間違いなく成長をもたらします。私は、日本の環境の中で研究することに情熱を見出すことができました。好奇心や、発見したい、深めたいという思いが満たされました。

ベニス大学から機能物質化学専攻への留学生 Sさん

オルラン大学への JoinTECH-Visit



私が取り組む研究について発表しました。異なるテーマを扱う研究者の方々から様々なコメントをいただき、私の研究に活用可能な実験技術や、知識について学ぶことができました。研究に焦点を当てたプログラムだからこそ、研究への意欲がさらに高まる議論ができました。

電子システム工学専攻 修士1年次 Tさん

所属・学年は参加時のものです

オンラインで、京都で、ヨーロッパで取組が始まっています。ウェブサイトをご覧ください。

https://www.kit.ac.jp/international_index/sekaitenkai/



JoinTECH Laboratoryで実施する研究内容はJV-Campusでも配信していきます。

<https://www.jv-campus.org/jvc-provider/360434/>



2025年11月にJoinTECH-Seminarをハイブリッド開催します！

